

EPSON

2024年度(2025年3月期) 第3四半期 決算説明会

2025年1月31日
セイコーエプソン株式会社

■ Q3実績

- 対前年同期 売上収益は小幅な減収、事業利益は減益
 - ✓ プリンティングソリューションズは、大容量インクタンクモデルの販売が伸長し増収となったものの、価格低下やインク販売でのチャネル在庫調整影響を受け減益
 - ✓ ビジュアルコミュニケーションは、欧米などで需要が旺盛だった前年同期に対して、当四半期は各国での教育予算・入札案件の調整や中国の景気停滞影響なども受け減収減益
- 対社内計画 売上収益、事業利益ともに計画並み
- 子会社化したFieryの業績は、PLには未反映(子会社化時点のBSを取り込み)

■ 2024年度通期業績予想(対11/1前回予想)

- 売上収益は上方修正、事業利益は前回予想値を据え置き
 - ✓ ビジュアルコミュニケーションは、想定以上の各国での教育予算・入札案件の調整や中国経済の停滞影響を受け下方修正
 - ✓ 堅調なプリンティングソリューションズは上方修正、Fieryの業績も反映
 - ✓ 費用抑制を継続

- 本日のご説明のポイントはご覧のとおりです。
- 第3四半期は、売上収益は小幅な減収、事業利益は減益となりました。
- プリンティングソリューションズは、大容量インクタンクモデルの販売が伸長し増収となったものの、価格低下やインク販売でのチャネル在庫調整影響を受け減益となりました。
- ビジュアルコミュニケーションは、欧米などで需要が旺盛だった前年同期に対して、当四半期は各国での教育予算・入札案件の調整や中国の景気停滞影響なども受け減収減益となりました。
- 社内計画に対しては、売上収益、事業利益ともに計画並みとなりました。
- なお、子会社化したFieryの業績は、第3四半期のPLには反映せず、通期業績予想には反映しています。
- 通期業績予想は、売上収益は上方修正、事業利益は前回予想値を据え置きます。
- ビジュアルコミュニケーションは、想定以上の事業環境悪化を受け下方修正するものの、堅調なプリンティングソリューションズは上方修正します。

- 第3四半期実績
- 2024年度通期業績予想・株主還元
- トピックス

	2023年度		2024年度		対前年同期	
	Q3実績	%	Q3実績	%	増減額	増減率
(億円)						
売上収益	3,535		3,496		-39	-1.1%
事業利益	298	8.5%	229	6.6%	-69	-23.3%
営業利益	237	6.7%	279	8.0%	+41	+17.5%
税引前利益	212	6.0%	343	9.8%	+130	+61.4%
親会社の所有者に帰属する 四半期利益	149	4.2%	240	6.9%	+91	+60.8%
EPS*1 (円)	45.20		74.10			
為替レート (円、指数)	USD	¥147.78	¥152.36			
	EUR	¥158.98	¥162.55			
	その他通貨*2	100	99			

- 営業利益
 - ・その他の営業収益に円安進行による為替差益を計上
 - 税引前利益
 - ・金融収益に円安進行による為替差益を計上
- Fiery業績はQ3実績(PL)には未反映

為替影響額 (億円)	USD	EUR	その他通貨 合計	総計
売上収益	+31	+13	+2	+47
事業利益	-14	+9	-3	-8

*1 EPS：基本的1株当たり当期利益
*2 その他通貨について、当期と前期レートでの円換算合計金額を比較し、前期を100として指数で表示

▶ 第3四半期の実績をご説明します。

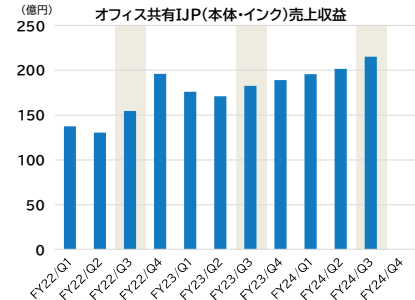
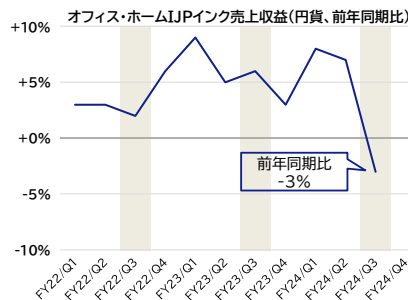
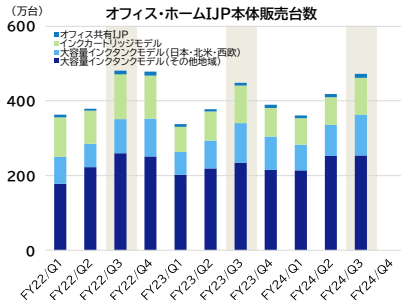
- ▶ 売上収益は、前年同期に対して 39億円減収の 3,496億円となりました。
- ▶ 事業利益は、IJP本体の価格低下影響やプロジェクターの減収影響を受け、69億円減益の 229億円となりました。
- ▶ また、円安進行による為替差益などを計上したことにより、営業利益は 279億円、税引前利益は 343億円となりました。
- ▶ これらの結果、四半期利益は 240億円となりました。
- ▶ 前回予想の前提となる社内計画に対しては、セグメントごとに濃淡はあるものの、売上収益、事業利益ともに計画並みとなりました。
- ▶ 次のスライド以降で、各事業の計画差異についてもご説明します。

		(億円)			
プリンティングソリューションズ	2023年度 Q3実績	2024年度 Q3実績	増減額	内為替影響額	増減率
売上収益	2,510	2,552	+42	+30	+1.7%
セグメント利益	369	332	-37	-6	-10.1%
セグメント利益率	14.7%	13.0%			

		(億円)			
オフィス・ホームプリンティング	2023年度 Q3実績	2024年度 Q3実績	増減額	内為替影響額	増減率
売上収益	1,819	1,841	+22	+18	+1.2%
オフィス・ホームIJP(SOHO・ホームIJP) ¹⁾	1,461	1,453	-7		-0.5%
オフィス・ホームIJP(オフィス共有IJP) ²⁾	182	214	+32		+17.9%
その他 ³⁾	175	172	-2		-1.5%
事業利益	237	197	-40	-11	-16.9%
事業利益率	13.1%	10.7%			

- オフィス・ホームプリンティング
 - IJP本体販売数量は前年同期比で+5%、売上は現地通貨ベース+3%、円貨+4%
 - IJPインク売上は、インクカートリッジの減少やQ2でのチャネルによる買い込みの反動も見られたことで、前年同期比で現地通貨ベース-4%、円貨-3%
 - 事業利益は、IJPインクの販売減少に加え、IJP本体の価格低下などにより減益

¹⁾ IJCEモデル・大容量インクタンクモデル本体、インクなど ²⁾ オフィス用IJCモデル・RIPS-LIJ本体、インクなど ³⁾ スキャナー、SIDM、LIP、形式オフィス製紙機など

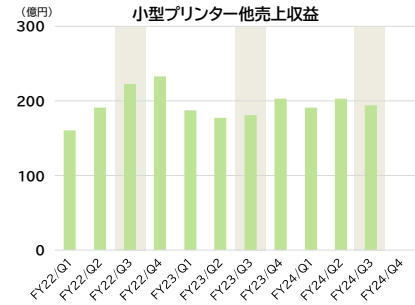
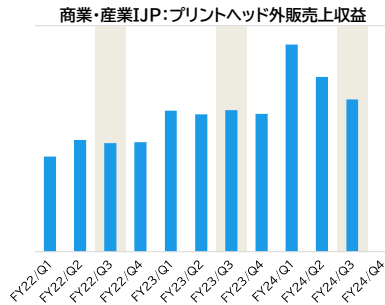
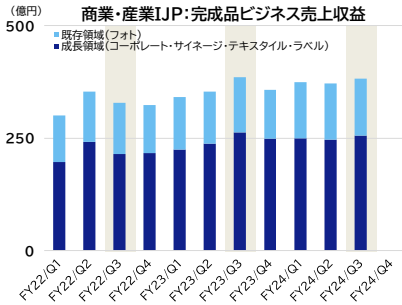


- ▶ プリンティングソリューションズの実績はご覧のとおりです。
- ▶ 売上収益は、為替変動によるプラス影響もあり、前年同期に対して42億円の増収となる2,552億円、セグメント利益は37億円減益の332億円となりました。
- ▶ オフィス・ホームプリンティングの売上収益は1,841億円となりました。
- ▶ IJP本体は、価格は競合他社の価格攻勢への対応により前年同期から低下したものの、大容量インクタンクモデルやオフィス共有IJPのラインインクジェット複合機などの販売数量を増加させ、増収となりました。
- ▶ IJPインクの販売は、本体市場稼働台数の変化に伴い、大容量インクボトルとオフィス共有IJPインクは増加したものの、インクカートリッジが減少しました。
- ▶ 加えて、第2四半期でのチャネルによる買い込みの反動も見られ、IJPインク合計では減収となりました。
- ▶ 事業利益は、IJPインクの販売減少に加え、IJP本体の価格低下などにより、197億円となりました。
- ▶ なお、社内計画に対しては、IJPインクの販売は計画並みとなりましたが、IJP本体は販売数量および価格が想定よりも上回ったことなどにより、オフィス・ホームプリンティングの売上収益、事業利益はともに計画を上回りました。

商業・産業プリンティング	(億円)		増減額	内為替影響額	増減率
	2023年度 Q3実績	2024年度 Q3実績			
売上収益	691	711	+20	+11	+2.9%
商業・産業IJP	510	517	+6		+1.3%
小型プリンター他	180	194	+13		+7.3%
事業利益	131	134	+2	+4	+2.1%
事業利益率	19.1%	18.9%			

■ 商業・産業プリンティング

- 商業・産業IJP完成品は、本体は顧客の投資抑制の影響を受けたものの、インクの販売が堅調
- プrintヘッド外販は、生産ライン変更の影響により供給制約が生じたものの、前年同期に対し旺盛な需要を捉え販売増加
- 小型プリンター他は、小売業界や飲食業界などでの投資意欲が改善



© Seiko Epson Corporation 2025

5

- 商業・産業プリンティングは、売上収益が 711億円、事業利益は 134億円となりました。
- 商業・産業IJPの完成品は、本体は顧客の投資抑制の影響を受けたものの、インクの販売が堅調で、前年同期並みの売上収益となりました。
- プrintヘッド外販は、生産ライン変更の影響により一時的な供給制約が生じたものの、前年同期に対して旺盛な需要を捉え増収となりました。
- 小型プリンター他は、小売業界や飲食業界などでの投資意欲に改善が見られ、増収となりました。
- これらの増収影響はあったものの、事業利益は将来成長に向けた費用投下の影響により、前年同期並みとなりました。
- なお、社内計画に対しては、売上収益は計画並みとなりましたが、フォト用インクの増加や費用抑制の効果により、事業利益は上回りました。

ビジュアルコミュニケーション	2023年度 Q3実績	2024年度 Q3実績	増減額	内為替 影響額	増減率
売上収益	590	509	-80	+9	-13.6%
セグメント利益	97	80	-17	+0	-17.4%
セグメント利益率	16.6%	15.9%			

◆プロジェクト販売動向 ¹⁾ (前年同期比増減率)	2023年度 Q3実績	2024年度 Q3実績
売上収益(円貨)	-2%	-13%
売上収益(現地通貨)	-7%	-14%
販売数量	-5%	-20%

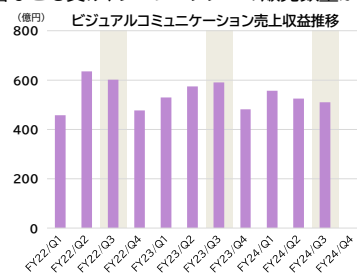
1) 社内管理数に基づく指標

マニュファクチャリング関連・ ウェアラブル	2023年度 Q3実績	2024年度 Q3実績	増減額	内為替 影響額	増減率
売上収益	439	442	+2	+8	+0.5%
マニュファクチャリングソリューションズ ²⁾	52	54	+2		+4.0%
ウェアラブル機器	91	98	+6		+7.6%
マイクロデバイス他	259	261	+2		+0.8%
PC	45	38	-6		-15.4%
事業間売上収益	-9	-10	-1		-
セグメント利益	-15	-23	-8	-2	-
セグメント利益率	-3.5%	-5.3%			

* FY24/Q3より、小型射出成形機ビジネス等を「全社費用」その他に計上(影響は軽微)

■ ビジュアルコミュニケーション

- ・欧米などで需要が旺盛だった前年同期に対して、当四半期は各国での教育予算・入札案件の調整や中国の景気停滞影響なども受け、プロジェクターの販売数量が減少

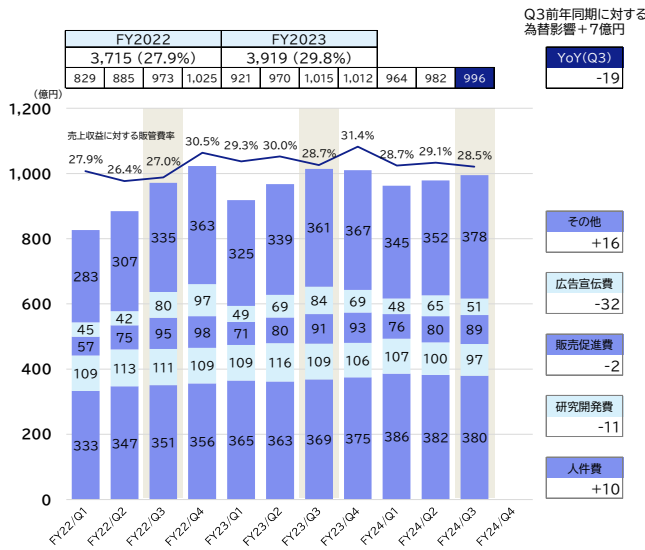


■ マニュファクチャリング関連・ウェアラブル

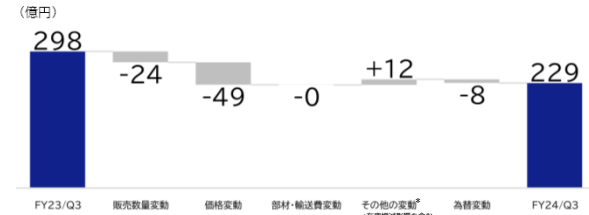
- ・マニュファクチャリングソリューションズは、中国での景気停滞や欧米の投資抑制影響が継続。固定費削減を継続
- ・ウェアラブル機器はインバウンド需要などにより増収
- ・マイクロデバイス他は、水晶デバイスで民生向けの需要回復が見られたものの、半導体で産業向けを中心に需要が低調
- ・PCは会計処理見直しによる一過性の影響を受ける

- ビジュアルコミュニケーションは、欧米などで教育需要が旺盛だった前年同期に対して、当四半期は各国での教育予算・入札案件の調整影響や中国の景気停滞影響などを受け、プロジェクターの販売数量が減少し、売上収益は 80億円減収の 509億円となりました。
- セグメント利益は減収影響により、17億円減益の 80億円となりました。
- 社内計画に対しては、教育予算および入札案件における想定以上の調整影響を受け、売上収益、セグメント利益ともに、計画を下回りました。
- マニュファクチャリング関連・ウェアラブルの売上収益は、前年同期並みの 442億円となりました。
- マニュファクチャリングソリューションズは、前年に引き続き中国での景気停滞や欧米の投資抑制影響を受けています。
- このような厳しい外部環境を踏まえ、固定費削減をはじめとしたオペレーション改革を継続しています。
- ウェアラブル機器の売上収益は、インバウンド需要などにより増収となりました。
- マイクロデバイス他は、産業向けの市場停滞が継続し、売上収益は前年同期並みとなりました。
- 水晶デバイスはスマートフォンなど民生向けの需要回復に加え、光通信モジュール向けなどが好調で増収となったものの、産業向けの割合が高い半導体は低調な売上が継続しています。
- セグメント利益は、PCでの会計処理見直しによる一過性の影響を受け、8億円減益の 23億円の損失となりました。
- なお、社内計画に対しては、同様にPCの影響により、売上収益、セグメント利益ともに計画を下回りました。

販売費及び一般管理費推移



事業利益の変動要因



数量変動
 + 大容量インクタンクモデル、プリントヘッド、小型プリンターなど
 - プロジェクター、IJPインクなど

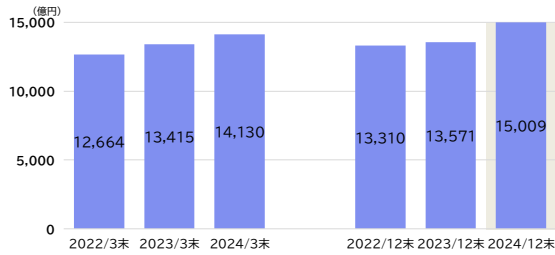
価格変動
 + プロジェクター、ウオッチなど
 - オフィス・ホームIJP本体など

部材・輸送費変動
 概ね前年同期並み

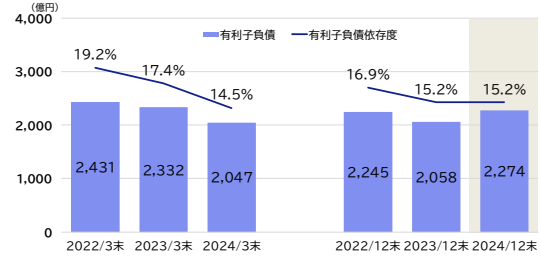
その他の変動
 + 在庫削減による利益マイナス影響があった前年同期に対してプラス
 - 人件費などの固定費増加、PCでの会計処理見直しによる影響

- 販売費及び一般管理費推移は、左のグラフの通りです。
- 厳しい市場環境を踏まえ、広告宣伝費をはじめ費用執行の精査を進めた結果、当四半期の販管費率は 28.5%となりました。
- 事業利益の変動要因を、右のグラフでご説明します。
- 数量は、大容量インクタンクモデルやプリントヘッド、小型プリンターなどでプラスとなりましたが、プロジェクターやIJPインクなどのマイナスが上回りました。
- 価格は、プロジェクターやウオッチでプラスとなりましたが、オフィス・ホームIJP本体などでのマイナスが上回りました。
- 部材・輸送費は、概ね前年同期並みとなりました。
- その他の変動は、在庫削減による利益マイナス影響があった前年同期に対してプラスとなりました。
- 人件費などの固定費増加やPCでの会計処理見直しによるマイナス影響もありました。

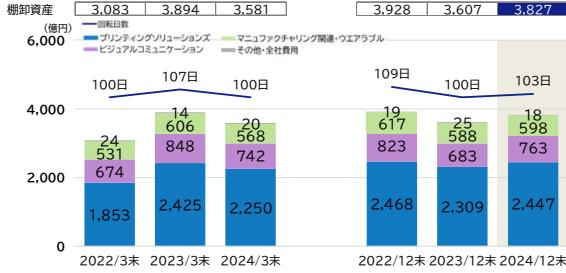
資産合計



有利子負債・有利子負債依存度



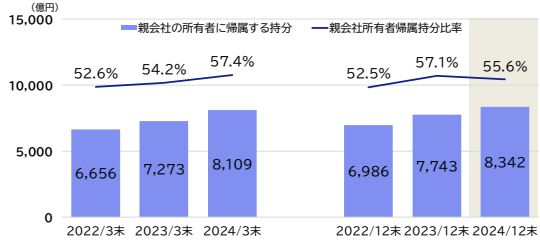
棚卸資産・回転日数*



ネットキャッシュ



親会社の所有者に帰属する持分・親会社所有者持分比率



* 回転日数(3月末) = 連結会計期間末棚卸資産残高 / 連結会計期間末(前)12ヶ月間の1日当たり売上収益
 回転日数(12月末) = 連結会計期間末棚卸資産残高 / 連結会計期間末(前)9ヶ月間の1日当たり売上収益

- 財政状態計算書の主要項目は、ご覧のとおりです。
- なお、これらはFieryのBSを取り込んだものになります。

- 第3四半期実績
- 2024年度通期業績予想・株主還元
- トピックス

(億円)	2023年度		2024年度		増減額/増減率	
	実績	%	11/1予想	%	対前期	対11/1予想
売上収益	13,139		13,400		+460 +3.5%	+200 +1.5%
事業利益	647	4.9%	850	6.3%	+202 +31.3%	—
営業利益	575	4.4%	680	5.1%	+144 +25.1%	+40 +5.9%
税引前利益	700	5.3%	670	5.0%	+49 +7.0%	+80 +11.9%
親会社の所有者に帰属する 当期利益	526	4.0%	470	3.5%	-6 -1.2%	+50 +10.6%
EPS*1 (円)	158.68		143.69			
為替レート (円、指数)	USD	¥144.44	¥149.00		¥153.00	
	EUR	¥156.66	¥163.00		¥163.00	
	その他通貨*2	100	101		102	

■ 営業利益・税引前利益
・為替差損益の予想を変更
Fiery業績は今回予想に反映

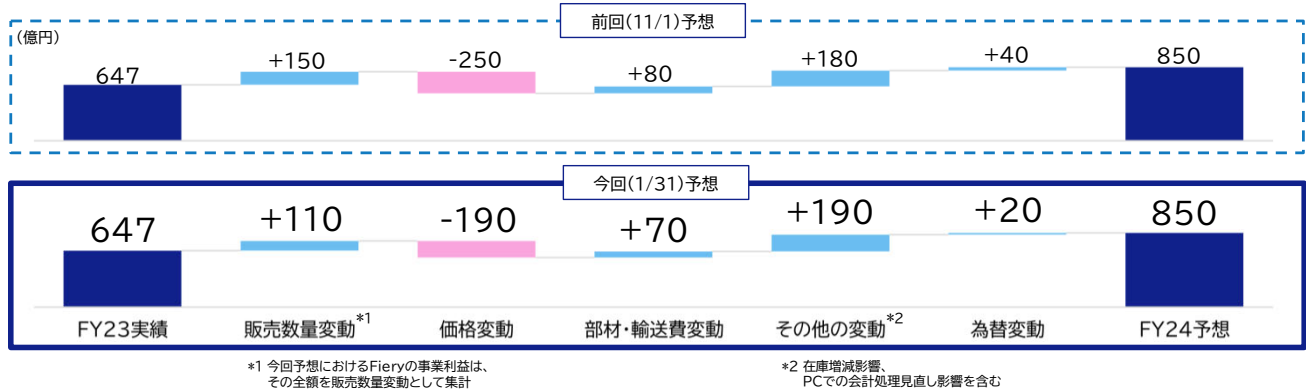
*1 EPS：基本的1株当たり当期利益
*2 その他通貨について、当期と前期レートでの円換算合計金額を比較し、前期を100として指数で表示
*3 USD/EURは1円の円高による年間影響額(億円)、その他通貨は1%の円高による年間影響額(億円)

為替感応度*3 (億円)	USD	EUR	その他通貨 合計	年間為替影響額 見込み(億円)	第4四半期の 為替前提(円)	USD	EUR
売上収益	-29	-15	-48	+390		153.00	158.00
事業利益	+9	-9	-27	+20			

- ▶ 続いて、2024年度の通期業績予想についてご説明します。
- ▶ 通期の売上収益は 1兆3,600億円に修正し、事業利益は 850億円を据え置きます。
- ▶ 当期利益は、為替前提を円安に見直し為替差損益の予想を変更したことなどにより、520億円を予想します。
- ▶ なお、12月に子会社化したFieryの影響は、今回の業績予想に織り込んでいます。

■ 対前回予想

- 販売数量は、オフィス・ホームIJPで堅調な需要に加え、Fiery子会社化による利益を取り込んだ一方、プロジェクターで事業環境変化を織り込んだ結果、引き下げ
- 価格は、IJP本体の販売価格が想定より高値で推移した実績を考慮



- 事業利益の増減要因について、前回予想からの主な変化をご説明します。
- 年間の販売数量は、オフィス・ホームIJPで堅調な需要に加え、Fiery子会社化による利益を取り込んだ一方、プロジェクターで事業環境変化を織り込んだ結果、引き下げました。
- 価格は、IJP本体の販売価格が想定より高値で推移した実績を考慮しました。

■ 連結業績への影響

	PL	BS
Q3実績	Fieryの業績は未反映	子会社化時点のFieryのBSを取り込み。 のれん・無形資産などは現在評価中であるため暫定額(Q4決算時には確定額を反映)
通期予想	「商業・産業プリンティング/商業・産業IJP」に、子会社化(12/2)以降を予想として反映	—

■ PMIの状況

- エプソンのマネジメントシステムへの組み込みは順調
 - ✓ コンプライアンス、リスク管理、連結決算・予算策定・予実管理など
- シナジー創出に向けた具体化な協議を開始

- Fieryの子会社化による連結業績への影響について、ご説明します。
- エプソンは、デジタル印刷ソフトウェアソリューション事業を手掛けるFieryを12月2日に子会社化しました。
- 第3四半期の連結業績には、FieryのPLの反映はありませんが、通期業績予想には子会社化以降の4カ月分の業績予想を、商業・産業プリンティングの商業・産業IJPに反映しました。
- 第3四半期の連結BSには、子会社化時点のFieryのBSを取り込みました。
- なお、のれんや無形資産は暫定的に算定・計上していますが、第4四半期決算では確定額を反映する予定です。
- なお、PMIは計画どおり進めています。
- コンプライアンス、リスク管理、連結決算など、エプソンのマネジメントシステムへの組み込みは順調に進んでいます。
- また、シナジー創出については、エプソンとFieryの技術の融合による価値創出の検討やクロスセルなど、中期、短期のテーマで具体的な協議を開始しています。

プリンティングソリューションズ	2023年度 実績	2024年度 11/1予想	2024年度 1/31予想	対前期 増減額	対前期 増減率	対11/1予想
売上収益	9,186	9,470	9,770	+583	+6.4%	+300
セグメント利益	961	1,160	1,220	+258	+26.9%	+60
セグメント利益率	10.5%	12.2%	12.5%			

■ オフィス・ホームプリンティング

- 堅調な大容量インクタンクモデルの販売状況を踏まえ、IJP本体の販売数量を引き上げ

◆ 販売動向 (社内管理値に基づく指標)

	FY23 実績	FY24 11/1予想	FY24 1/31予想	
オフィス・ホームIJP 本体販売数量	伸長率 約、万台	-9%	+3%	+6%
内 SOHO・ホーム向け 大容量インクタンクモデル	1,200	1,265	1,310	
内 SOHO・ホーム向け I/Cモデル	325	300	310	
内 オフィス共有IJP	30	35	35	
オフィス・ホームIJP インク売上収益伸長率	(円貨) (現地通貨)	+6%	+1%	+1%
		-0%		

オフィス・ホームプリンティング	2023年度 実績	2024年度 11/1予想	2024年度 1/31予想	対前期 増減額	対前期 増減率	対11/1予想
売上収益	6,508	6,560	6,740	+231	+3.6%	+180
オフィス・ホームIJP(SOHO・ホームIJP) ^{*1}	5,084	5,040	5,230	+145	+2.9%	+190
オフィス・ホームIJP(オフィス共有IJP) ^{*2}	718	860	860	+141	+19.6%	-
その他 ^{*3}	705	660	650	-55	-7.8%	-10
事業利益	536	580	600	+63	+11.8%	+20
事業利益率	8.2%	8.8%	8.9%			

商業・産業プリンティング	2023年度 実績	2024年度 11/1予想	2024年度 1/31予想	対前期 増減額	対前期 増減率	対11/1予想
売上収益	2,679	2,910	3,030	+350	+13.1%	+120
商業・産業IJP	1,930	2,130	2,240	+309	+16.0%	+110
小型プリンター他	748	780	790	+41	+5.5%	+10
事業利益	424	580	620	+195	+46.1%	+40
事業利益率	15.8%	19.9%	20.5%			

■ 商業・産業プリンティング

- Fiery業績を「商業・産業IJP」に反映
- フォト用インクの増加や費用抑制効果を織り込む

- 次に、事業セグメント別にご説明します。
- プリンティングソリューションズは、売上収益、事業利益ともに上方修正します。
- オフィス・ホームプリンティングは、
堅調な大容量インクタンクモデルの販売状況を踏まえ、IJP本体の販売数量を引き上げることなどにより、売上収益、事業利益ともに上方修正します。
- 商業・産業プリンティングは、
Fieryの業績を商業・産業IJPに反映しました。
- 加えて、フォト用インクの増加や費用抑制の効果を織り込んだことにより、
売上収益、事業利益ともに上方修正します。

(億円)						
ビジュアルコミュニケーション	2023年度 実績	2024年度 11/1予想	2024年度 1/31予想	対前期 増減額	対前期 増減率	対11/1予想
売上収益	2,174	2,080	2,020	-154	-7.1%	-60
セグメント利益	315	290	250	-65	-20.9%	-40
セグメント利益率	14.5%	13.9%	12.4%			

■ ビジュアルコミュニケーション

- 各国での教育予算および入札案件における調整影響や中国経済の停滞影響は想定以上、販売数量を引き下げ

◆ プロジェクター販売動向* (前年同期比伸長率)			
	2023年度 実績	2024年度 11/1予想	2024年度 1/31予想
販売数量(約、万台)	180	165	155
伸長率	-5%	-7%	-13%

* 社内報データに基づく指標

(億円)						
マニュファクチャリング関連・ウェアラブル	2023年度 実績	2024年度 11/1予想	2024年度 1/31予想	対前期 増減額	対前期 増減率	対11/1予想
売上収益	1,799	1,850	1,820	+20	+1.2%	-30
マニュファクチャリングソリューションズ	247	240	230	-17	-7.1%	-10
ウェアラブル機器	347	370	370	+22	+6.5%	-
マイクロデバイス他	1,043	1,050	1,050	+6	+0.6%	-
PC	196	230	210	+13	+6.9%	-20
事業間売上収益	-35	-40	-40	-4	-	-
セグメント利益	-15	0	-20	-4	-	-20
セグメント利益率	-0.9%	0.0%	-1.1%			

■ マニュファクチャリング関連・ウェアラブル

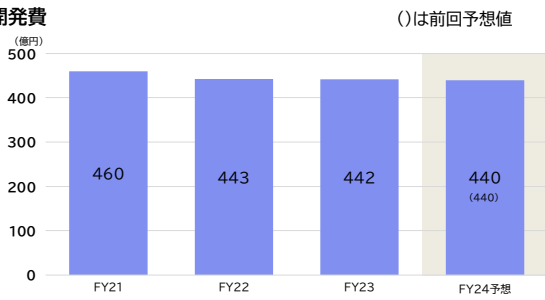
- マニュファクチャリングソリューションズは、欧州などの投資抑制動向を反映
- Q3におけるPCでの会計処理見直しの影響

* FY24/Q3より、小型射出成形機ビジネス等を「全社費用」その他に計上(影響は軽微)

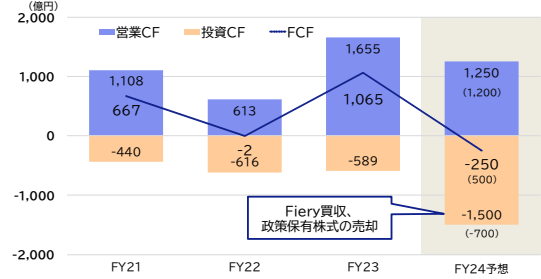
- ▶ ビジュアルコミュニケーションは、各国での教育予算および入札案件における調整影響や中国経済の停滞影響は想定以上であり、売上収益、セグメント利益ともに下方修正します。
- ▶ マニュファクチャリング関連・ウェアラブルは、マニュファクチャリングソリューションズ、ウェアラブル機器、マイクロデバイスは前回予想並みを見込むものの、主に第3四半期におけるPCでの会計処理見直しの影響により、下方修正します。

2024年度 通期業績予想 | 主要費用、フリー・キャッシュ・フロー、経営指標 EPSON

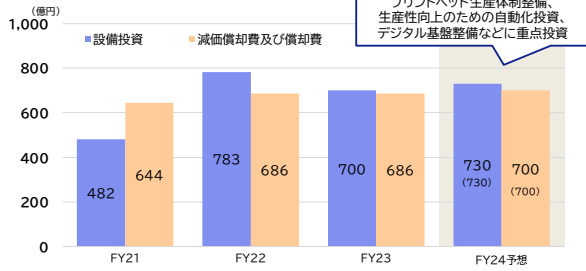
研究開発費



フリー・キャッシュ・フロー



設備投資・減価償却費及び償却費



主要経営指標	FY21 実績	FY22 実績	FY23 実績	FY24 予想	FY25 中期目標(新)
為替レート:USD/円	112.37	135.44	144.44	153.00	-
為替レート:EUR/円	130.55	140.90	156.66	163.00	-
売上収益 (億円)	11,289	13,303	13,139	13,600	-
事業利益 (億円)	896	951	647	850	-
親会社の所有者に帰属する当期利益 (億円)	922	750	526	520	-
ROS ^{*1}	7.9	7.1	4.9	6.3%	7%以上
ROA ^{*2}	7.4	7.3	4.7	6.0%	-
ROE ^{*3}	15.2	10.8	6.8	6.4%	8%以上
ROIC ^{*4}	7.3	7.1	4.6	5.8%	7%以上

*1 売上収益事業利益率=事業利益/売上収益
 *2 資産合計事業利益率=事業利益/期首・期末資産合計平均
 *3 親会社所有者帰属持分当期利益率=親会社の所有者に帰属する当期利益/期首・期末親会社の所有者に帰属する持分平均
 *4 投下資本利益率=税引後事業利益/(親会社の所有者に帰属する持分+有利子負債)
 税引後事業利益は、事業利益から実効税率相当額を控除した金額
 親会社の所有者に帰属する持分および有利子負債は期首・期末平均

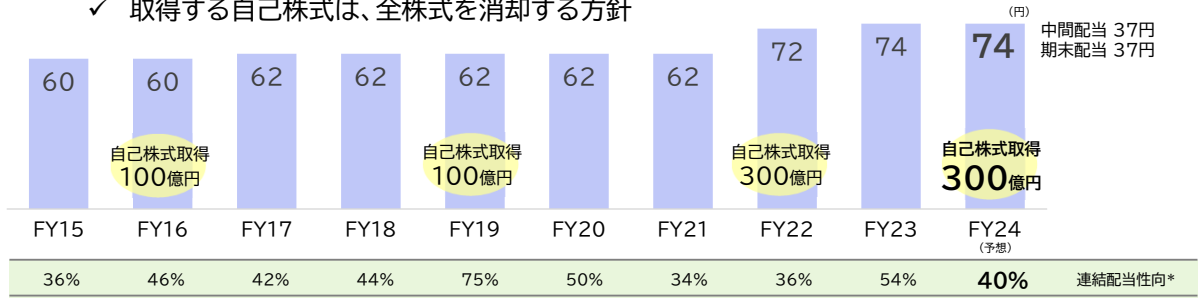
- 研究開発費、設備投資、減価償却費に変更はありません。
- フリー・キャッシュ・フローは、前回予想から、政策保有株式の売却によるプラス影響があった一方、Fiery買収などによるマイナス影響があり、マイナス 250億円を予想します。
- 主要経営指標はご覧のとおりです。

■ 配当

- 2024年度の1株当たり年間配当は74円を予想
 - ✓ 中期的には連結配当性向*40%程度を目標に、安定的な配当を継続

■ 自己株式取得

- 2024年度に300億円を上限とする自己株式取得を実施中
(取得期間:2024年7月18日~2025年3月31日)
 - ✓ 2024年12月末の進捗状況:72.77%(金額ベース)
 - ✓ 取得する自己株式は、全株式を消却する方針



* 事業利益から法定実効税率相当額を控除した額を元に算出

- 株主還元についてご説明します。
- 当期の1株当たり年間配当は、予想に変更はなく 74円です。
- また、300億円を上限とする自己株式取得を進めています。
- 12月末までに上限の約7割を取得しました。
- なお、取得する自己株式は、全株式を消却する方針です。
- 今後も、安定的かつ積極的な株主還元を実施していきます。

- 第3四半期実績
- 2024年度通期業績予想・株主還元
- トピックス

■ エプソンの知的財産活動は外部から高い評価

- 世界的に著名な知的財産メディアである Intellectual Asset Managementより、『2024 アジア知財エリート(The 2024 Asia IP Elite)』に選出
- エプソンは事業成長を戦略的に加速するための知的財産活動を展開
 - ✓ コア技術の知的財産を数多く保有
 - ✓ ブランド価値向上や新たな事業創出を促進するイノベーションを推進



技術分野別 特許登録件数ランキング*

日本	米国	中国
インクジェットプリンター 1位	インクジェットプリンター 1位	インクジェットプリンター 1位
ピエゾヘッド 1位	ピエゾヘッド 1位	ピエゾヘッド 1位
プロジェクター 1位	プロジェクター 1位	プロジェクター 1位
ロボティクス 3位	ロボティクス 3位	ロボティクス 1位
ウォッチ 3位	ウォッチ 3位	ウォッチ 4位
水晶デバイス 1位	水晶デバイス 1位	水晶デバイス 1位

* エプソンの2023年特許登録件数ランキング(エプソン調べ、中国実用新案を含まない)

- 最後に、当四半期のトピックスについてご紹介します。
- このたび世界的に著名な知的財産メディアから、『2024 アジア知財エリート』に選出されました。
- エプソンは、こちらの表のとおり、ピエゾヘッドをはじめとしたコア技術に関する知的財産を数多く保有しています。
- 今後も、事業成長を戦略的に加速するための知的財産活動を展開し、持続的成長および企業価値の向上を実現してまいります。

EPSON

補足資料

	2023年度		2024年度		対前年同期	
	Q3累計実績 (億円)	%	Q3累計実績	%	増減額	増減率
売上収益	9,921		10,238		+317	+3.2%
事業利益	543	5.5%	739	7.2%	+196	+36.1%
営業利益	516	5.2%	628	6.1%	+111	+21.6%
税引前利益	596	6.0%	672	6.6%	+75	+12.7%
親会社の所有者に帰属する 四半期利益	424	4.3%	473	4.6%	+49	+11.6%
EPS*1 (円)	128.08		144.12			
為替レート (円、指数)	USD	¥143.15	¥152.46			
	EUR	¥155.19	¥164.72			
	その他通貨*2	100	105			
為替影響額 (億円)	USD	EUR	その他通貨 合計	総計		
売上収益	+193	+95	+113	+402		
事業利益	-65	+60	+71	+66		

*1 EPS：基本的1株当たり当期利益
*2 その他通貨の各レートを為替ボリュームに応じて加重平均した値について、前年同期を100とした指数

2024年度 第3四半期累計実績 | プリンティングソリューションズ EPSON

(億円)

プリンティングソリューションズ	2023年度 Q3累計	2024年度 Q3累計	増減額	内為替 影響額	増減率
売上収益	6,883	7,318	+434	+278	+6.3%
セグメント利益	743	967	+223	+39	+30.1%
セグメント利益率	10.8%	13.2%			

オフィス・ホームプリンティング	2023年度 Q3累計	2024年度 Q3累計	増減額	内為替 影響額	増減率
売上収益	4,887	5,129	+242	+181	+5.0%
オフィス・ホームIJP(SOHO・ホームIJP)* ¹	3,825	4,012	+186		+4.9%
オフィス・ホームIJP(オフィス共有IJP)* ²	529	612	+82		+15.6%
その他* ³	531	504	-27		-5.1%
事業利益	426	484	+58	-8	+13.6%
事業利益率	8.7%	9.5%			

*1 I/Cモデル-大容量インクタンクモデル本体、インクなど *2 I/Cモデル-RIPS-LIJ本体、インクなど *3 スキャナー、SIDM、LP、乾式オフセット印刷機など

商業・産業プリンティング	2023年度 Q3累計	2024年度 Q3累計	増減額	内為替 影響額	増減率
売上収益	1,997	2,189	+192	+98	+9.6%
商業・産業IJP	1,451	1,601	+149		+10.3%
小型プリンター他	545	588	+42		+7.9%
事業利益	316	482	+165	+48	+52.3%
事業利益率	15.9%	22.0%			

(億円)

ビジュアルコミュニケーション	2023年度 Q3累計	2024年度 Q3累計	増減額	内為替 影響額	増減率
売上収益	1,692	1,590	-102	+79	-6.0%
セグメント利益	244	240	-4	+24	-1.7%
セグメント利益率	14.5%	15.1%			

(億円)

マニファクチャリング関連・ ウェアラブル	2023年度 Q3累計	2024年度 Q3累計	増減額	内為替 影響額	増減率
売上収益	1,366	1,341	-24	+46	-1.8%
マニファクチャリングソリューションズ*	178	166	-11		-6.5%
ウェアラブル機器	271	301	+29		+11.0%
マイクロデバイス他	800	769	-30		-3.9%
PC	142	137	-5		-3.7%
事業間売上収益	-27	-33	-6		-
セグメント利益	2	-28	-31	+4	-
セグメント利益率	0.2%	-2.2%			

* FY24/Q3より、小型射出成形機ビジネス等を「全社費用・その他」に計上(影響は軽微)

主要製品の販売動向

			FY2023 Q1実績	FY2023 Q2実績	FY2023 Q3実績	FY2023 Q4実績	FY2023 通期 実績	FY2024 Q1実績	FY2024 Q2実績	FY2024 Q3実績	FY2024 通期 予想	
*社内管理値に基づく指標 伸長率は前年同期比			USD	137.18	144.47	147.78	148.31	144.44	155.79	149.23	152.36	
			EUR	149.40	157.20	158.98	161.07	156.66	167.74	163.86	162.55	
オフィス・ホーム プリンティング	オフィス・ホーム IJP 本体	売上収益(円貨)	伸長率	+1%	+3%	-4%	-13%	-4%	+11%	+10%	+4%	+7%
		売上収益(現地通貨)	伸長率	-3%	-2%	-9%	-21%	-10%	+1%	+9%	+3%	
		本体数量	伸長率	-7%	-0%	-7%	-19%	-9%	+7%	+11%	+5%	+6%
		本体数量	万台					約1,555				約1,655
		内 SOHO・ホーム向け大容量インクタンクモデル	万台					約1,200				約1,310
		内 SOHO・ホーム向けI/Cモデル	万台					約325				約310
		内 オフィス共有IJP	万台					約30				約35
	オフィス・ホーム IJP インク	インク売上収益比率 インク=(本体+インク)	構成比					38%				37%
		売上収益(円貨)	伸長率	+9%	+5%	+6%	+3%	+6%	+8%	+7%	-3%	+1%
		売上収益(現地通貨)	伸長率	+5%	-1%	+1%	-6%	-0%	-1%	+5%	-4%	
ビジュアル コミュニケーション	プロジェクター 本体	売上収益(円貨)	伸長率	+17%	-10%	-2%	+1%	+0%	+5%	-8%	-13%	-7%
		売上収益(現地通貨)	伸長率	+12%	-15%	-7%	-9%	-6%	-6%	-10%	-14%	
		本体数量	伸長率	+4%	-10%	-5%	-8%	-5%	-8%	-10%	-20%	-13%
		本体数量	万台					約180				約155

財務データ(2023年度・2024年度)

EPSON

		FY2023	FY2023	FY2023	FY2023	FY2023	FY2024	FY2024	FY2024	FY2024	FY2024	(億円)
		Q1	Q2	Q3	Q4	通期	Q1	Q2	Q3	Q4	通期	
		実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	
為替レート	USD	137.18	144.47	147.78	148.31	144.44	155.79	149.23	152.36			153.00
(円)	EUR	149.40	157.20	158.98	161.07	156.66	167.74	163.86	162.55			163.00
プリンティングソリューションズ	売上収益	2,151	2,221	2,510	2,302	9,186	2,359	2,406	2,552			9,770
	セグメント利益	223	150	369	217	961	296	339	332			1,220
オフィス・ホームプリンティング	売上収益	1,498	1,569	1,819	1,621	6,508	1,610	1,677	1,841			6,740
	事業利益	126	62	237	109	536	132	154	197			600
商業・産業プリンティング	売上収益	653	652	691	681	2,679	748	729	711			3,030
	事業利益	97	87	131	107	424	163	184	134			620
ビジュアルコミュニケーション	売上収益	529	573	590	481	2,174	556	523	509			2,020
	セグメント利益	67	79	97	71	315	77	81	80			250
マニファクチャリング関連・ウェアラブル	売上収益	473	452	439	433	1,799	453	446	442			1,820
	セグメント利益	7	10	-15	-18	-15	-3	-2	-23			-20
全社費用・その他、調整額	売上収益	-5	-10	-5	1	-20	-3	-0	-8			-10
	セグメント利益	-143	-151	-153	-166	-614	-135	-143	-160			-600
	売上収益	3,148	3,236	3,535	3,218	13,139	3,366	3,375	3,496			13,600
	事業利益	155	88	298	103	647	234	275	229			850
	ROS	5.0%	2.7%	8.5%	3.2%	4.9%	7.0%	8.2%	6.6%			6.3%
連結合計												
研究開発費		109	116	109	106	442	107	100	97			440
設備投資	プリンティングソリューションズ	67	64	167	142	441	91	99	133			440
	ビジュアルコミュニケーション	12	9	20	18	60	11	23	27			80
	マニファクチャリング関連・ウェアラブル	16	22	34	49	123	13	25	32			140
	全社費用・その他	9	20	19	26	75	11	19	18			70
減価償却費及び償却費	プリンティングソリューションズ	103	103	105	106	418	109	106	108			440
	ビジュアルコミュニケーション	24	24	23	22	94	23	22	23			100
	マニファクチャリング関連・ウェアラブル	25	25	26	26	103	27	27	27			100
	全社費用・その他	17	17	17	17	69	16	16	17			60
営業CF		273	341	523	516	1,655	353	346	387			1,250
FCF		63	235	394	371	1,065	155	172	-582			-250

海外売上収益・従業員数

EPSON

海外売上収益

為替レート(円)	USD	129.64	138.30	141.55	132.28	137.18	144.47	147.78	148.31	155.79	149.23	152.36
	EUR	138.11	139.28	144.23	141.97	149.40	157.20	158.98	161.07	167.74	163.86	162.55

売上収益(億円)	FY22/Q1	FY22/Q2	FY22/Q3	FY22/Q4	FY23/Q1	FY23/Q2	FY23/Q3	FY23/Q4	FY24/Q1	FY24/Q2	FY24/Q3	対前年同期
米州	1,000	1,115	1,143	1,110	1,069	1,062	1,080	1,087	1,145	1,066	1,066	-14
欧州	573	683	785	780	621	708	842	721	679	747	781	-60
アジア・オセアニア	884	1,005	1,009	891	928	939	976	867	1,021	1,018	1,038	+62
海外売上収益計	2,457	2,804	2,938	2,782	2,619	2,710	2,898	2,677	2,846	2,832	2,886	-12
連結合計	2,978	3,352	3,612	3,359	3,148	3,236	3,535	3,218	3,366	3,375	3,496	-39

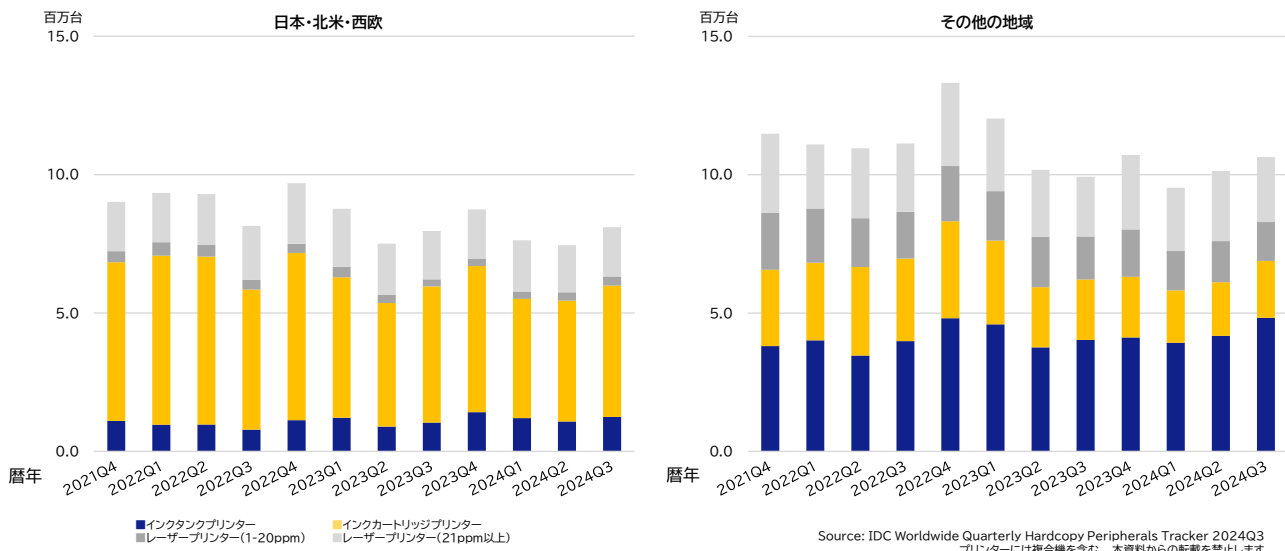
構成比	FY22/Q1	FY22/Q2	FY22/Q3	FY22/Q4	FY23/Q1	FY23/Q2	FY23/Q3	FY23/Q4	FY24/Q1	FY24/Q2	FY24/Q3
米州	33.6%	33.3%	31.6%	33.1%	34.0%	32.8%	30.6%	33.8%	34.0%	31.6%	30.5%
欧州	19.2%	20.4%	21.8%	23.2%	19.7%	21.9%	23.8%	22.4%	20.2%	22.2%	22.4%
アジア・オセアニア	29.7%	30.0%	27.9%	26.5%	29.5%	29.0%	27.6%	27.0%	30.3%	30.2%	29.7%
海外売上収益計	82.5%	83.7%	81.3%	82.8%	83.2%	83.7%	82.0%	83.2%	84.6%	83.9%	82.6%

従業員数

期末従業員数(人)	2022/6末	2022/9末	2022/12末	2023/3末	2023/6末	2023/9末	2023/12末	2024/3末	2024/6末	2024/9末	2024/12末	対前年同期
国内	20,128	20,131	20,174	20,124	20,633	20,535	20,323	20,209	20,702	20,672	20,439	+116
海外	59,887	62,742	64,308	59,782	57,932	55,764	54,649	54,255	56,969	57,889	56,808	+2,159
連結合計	80,015	82,873	84,482	79,906	78,565	76,299	74,972	74,464	77,671	78,561	77,247	+2,275

売上収益・従業員数にFieryは含まない

A4サイズプリンターのタイプ別市場推移



イノベーション	オフィス・ホーム プリンティング イノベーション	商業・産業 プリンティング イノベーション	ビジュアル イノベーション	マニュファクチャリング イノベーション	ライフスタイル イノベーション		
セグメント	プリンティングソリューションズ		ビジュアル コミュニケーション	マニュファクチャリング関連・ウェアラブル			
事業 ・ 主要製品	オフィス・ホームプリンティング オフィス・ホームIJP SOHO・ホーム 大容量インクタンクモデル インクカートリッジモデル オフィス共有 大容量インクパックモデル (RIPS) ラインインクジェット複合機 (L1J) オフィス向けインクカートリッジモデル PaperLab レーザープリンター SIDM スキャナー	商業・産業プリンティング 商業・産業IJP 完成品ビジネス フォト コーポレート サイネージ ラベルプリンター テキスタイル ラベル印刷機 プリントヘッド外販 Fiery 小型プリンター 小型ラベルプリンター	プロジェクター 高光束 超短焦点 スタANDARD ホーム・スマート HMD 	マニュファクチャリングソリューションズ ロボット スカラ G種 オプション 	ウェアラブル機器 Orient Star Orient Orient ムーブメント セイコービジネス 	マイクロデバイス他 マイクロデバイス 水晶デバイス 半導体 エプソンダイレクトPC 微細合金粉末 表面処理加工 	PC

ESG
インデックス
組み入れ・
格付け

- FTSE4Good Index Series
- FTSE Blossom Japan Index
- FTSE Blossom Japan Sector Relative Index
- MSCI日本株ESGセレクト・リーダーズ指数
- MSCI日本株女性活躍指数 (WIN)
- S&P/JPXカーボン・エフィシエント指数
- Morningstar Japan ex-REIT Gender Diversity Tilt Index

ESG
関連表彰・
銘柄選定
など

- SOMPOサステナビリティ・インデックス
- ISS ESGのESG コーポレートレーティング評価「ブライム」
- CDP企業調査2023「A!リスト」企業（分野:気候変動、水セキュリティ）
- EcoVadis社のサステナビリティ評価「プラチナ」
- 日本政策投資銀行(DBJ)環境格付け融資「ランクA」
- MSCI ESG レーティング「AAA」
- 海外主力工場でRBA*1監査の最高位プラチナ認証取得(インドネシア、マレーシア、フィリピン)
- コーポレートガバナンス・オブ・ザ・イヤー®2023「Winner Company」:2024年1月
- 第5回ESGファイナンス・アワード・ジャパン(環境サステナブル企業部門)「環境大臣賞・銀賞」
:2024年2月
- 健康経営銘柄2024*2 :2024年3月
- IAM「2024 アジア知財エリート(The 2024 Asia IP Elite)」:2024年11月
- 「2024年度省エネ大賞 資源エネルギー庁長官賞」(諏訪南事業所ユーティリティ設備における省エネ活動):2024年12月
- 日経225 :2017年から選定

GPIFが採用する
ESG国内指数6件全てに選定

FTSE Blossom Japan

FTSE Blossom Japan Sector Relative Index

2024 CONSTITUENT MSCI日本株 ESGセレクト・リーダーズ指数

2024 CONSTITUENT MSCI日本株 女性活躍指数 (WIN)

S&P/JPXカーボン・エフィシエント指数

MORNINGSTAR GenDi J Japan ex-REIT Gender Diversity Tilt Index TOP CONSTITUENT 2024

投資家情報



- IRライブラリ <https://corporate.epson/ja/investors/publications/>
 - 経営・事業戦略説明会 <https://corporate.epson/ja/investors/publications/presentations.html>
 - 統合レポート <https://corporate.epson/ja/investors/publications/integrated-report.html>
- 5分で分かるエプソン <https://corporate.epson/ja/investors/overview/>
- 株主還元 <https://corporate.epson/ja/investors/information/stock-dividends.html>

- パーパス <https://corporate.epson/ja/philosophy/purpose/>
- 長期ビジョン <https://corporate.epson/ja/philosophy/vision/>

サステナビリティ



- サステナビリティ経営 <https://corporate.epson/ja/sustainability/initiatives/>
- 環境 <https://corporate.epson/ja/sustainability/environment/>
- 人材 <https://corporate.epson/ja/sustainability/our-people/>
- ESGデータ <https://corporate.epson/ja/sustainability/esg-data/>

I/C	Ink Cartridge, インクカートリッジ
IJP	Inkjet Printer, インクジェットプリンター
LIJ	Line Inkjet Printer, ラインインクジェット複合機
LP	Laser Printer, レーザープリンター(複合機含む)
RIPS	Replaceable Ink Pack System, 大容量インクパックモデル
大容量インクタンクモデル	エコタンク搭載インクジェットプリンター
大容量インクモデル	大容量インクタンクモデル、大容量インクパックモデル(RIPS)、高速ラインインクジェット(LIJ)の総称
SOHO	Small Office Home Office, 小規模オフィス・ホームオフィス
オフィス共有IJP	製品カテゴリーの1つ。高プリントボリュームオフィス向けプリンター。I/Cモデル,RIPS,LIJを含む
商業・産業IJP完成品ビジネス	商業・産業用大判インクジェットプリンター本体・インク・サービスなどを含む
プリントヘッド外販ビジネス	プリントヘッド、インクなどを含む
Epson Connect	エプソンの製品・サービスを対象としたモバイル・クラウドサービス
Color Control Technology	商業・産業印刷における色再現性を高めるカラーマネジメント技術
分散印刷	同一内容の印刷データを複数のプリンターを用いて印刷する方法
SIDM	Serial Impact Dot Matrix Printer
3LCD	プロジェクター方式の1つ。液晶パネル3枚を使う方式
高光束プロジェクター	交換レンズ機能付き高輝度プロジェクター
スマートプロジェクター	500lm以上で、独立してネットワーク接続が可能かつ動画配信サービスなどが利用可能なプロジェクター
FPD	Flat Panel Display, フラットパネルディスプレイ
WP	ウェアラブル機器事業
MD他	マイクロデバイス他事業

■ 将来見通しに係わる記述についての注意事項

- 本説明資料に記載されている将来の業績に関する見通しは、公表時点で入手可能な情報に基づく将来の予測であり、潜在的なリスクや不確定要素を含んだものです。そのため、実際の業績はさまざまな要素により、記載された見通しと大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。実際の業績に影響を与えうる要素としては、日本および海外の経済情勢、市場におけるエプソンの新製品・新サービスの開発・提供とそれらに対する需要の動向、価格競争を含む他社との競合、テクノロジーの変化、為替の変動などが含まれます。なお、業績などに影響を与えうる要素は、これらに限定されるものではありません。

■ 事業利益について

- 事業利益は、売上収益から 売上原価、販売費及び一般管理費を控除して算出しています。連結包括利益計算書上に定義されていない指標であるものの、日本基準の営業利益とほぼ同じ概念であることから、連結財務諸表の利用者がエプソンの業績を評価する上でも有用な情報であると判断し、追加的に開示しています。

■ 本説明資料における表示方法

- 数値:表示単位未満を切り捨て
- 比率:円単位で計算後、表示単位の一桁下位を四捨五入
- 年度:断りが無い限り、会計年度を示す

EPSON